

久留米市まち・ひと・しごと創生総合戦略（暫定版）に対するパブリック・コメントでの意見

1 位置づけ

No.	意見者	主な対象項目 (暫定版該当ページ)	意見の概要	意見への対応 (確定版該当ページ)
1	市内団体	P1	産官学金労等に「言」を挿入して産官学金労言等に修正する。	確定版の策定にあたっては、メディア関係を含む産官学金労言など各界の有識者等で構成する「久留米市まち・ひと・しごと創生会議」を設置し、意見聴取を行っています。 なお、確定版では、当該箇所（策定過程の説明）に係る記載を省略しております。 (該当ページなし)

4 基本目標

No.	意見者	主な対象項目 (暫定版該当ページ)	意見の概要	意見への対応 (確定版該当ページ)
2	市内団体	P2	「若い世代の結婚・妊娠…」に「雇用」を加えて「若い世代の雇用・結婚・妊娠…」と修正する。 (関連箇所同様)	若い世代も含め、「雇用」については、地方創生を進めるうえで最も重要な要素の1つであることを踏まえ、単独の基本目標として「安定した雇用を創出する」を設定しています。 (P5ほか)
3	市内団体	P2	「安心な暮らしを…」に「安全・」を加えて「安全・安心な暮らしを…」に修正する。(関連箇所同様)	「安全」であることが「安心」を実感していただくための重要な要素の1つとして整理し、安全の意味も含めて「安心な暮らしを守る」という目標を設定しています。(P4ほか)

5 施策の基本的方向と主な事業、客観的な指標

No.	意見者	主な対象項目 (暫定版該当ページ)	意見の概要	意見への対応 (確定版該当ページ)
4	市内団体	P3	すべてのKPIにおける人数は性別に集計し表記する。	ご意見につきましては、戦略の効果を検証する際の参考とさせていただきます。(原案のとおり)

(1) 安定した雇用を創出する

No.	意見者	主な対象項目 (暫定版該当ページ)	意見の概要	意見への対応 (確定版該当ページ)
5	市内個人 40代女性	○久留米市の強みを活かした産業の集積と新産業の創出 P3	工業団地に大企業を誘致することもよいが、一つの業種や産業に依存すると、その企業の撤退や産業の衰退により、街は存続の危機を迎える。そのため、大企業の誘致よりも、 <u>地元の中小企業が久留米に根を広げ、発展できる仕組みを創る必要がある</u> 、久留米の地場産業を活発にして、 <u>中小企業が永続的に続く産業の仕組みづくりや職場の確保</u> を考えて頂きたい。	地場企業の振興は、地域経済の発展に向けた重要な要素であることから、「地域企業成長支援事業」「ものづくり企業イノベーション促進事業」など、具体的な取り組みを進めることとしております。(P20・21)
6	市内個人 60代男性	○職業として選べる魅力ある農業の実現 P5	B級グルメにも質が求められており、 <u>くるめブランドの質の高い豚肉、鶏肉や小麦を生産し、食材に使用することで、久留米の食の代名詞であるところつラーメンや焼鳥を美味しくして欲しい。</u> <u>うなぎも、これから手にはいりづらくなってくると思うので、代用に、どじょうを生産して、店に出すようにしたら良いのではないか。</u>	「食」は久留米市の魅力をPRする重要な地域資源の1つと認識しております。 ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。
7	市内団体	○地場企業の振興と人材の確保 P7	⑧地元就職推進事業 「KPI:5年間の九州インターンシップ協議会登録企業数」を「5年間の地元就職した若年求職者数」に変更する。	把握の可否や迅速性等を考慮し、「市内の大学等の新卒者の市内企業への就職率」という目標設定を行っています。(P3・20)
8	市内団体	○地場企業の振興と人材の確保 P7	⑨高齢者の現役活躍支援事業 「KPI:5年間のセミナー受講者数」を「KPI:5年間の高齢者の就職者数」に変更する。	把握の可否や迅速性等を考慮し、「65～70歳の市民の、就労による収入のある人の割合」という目標設定を行っています。(P25)

(2) 久留米市への新しいひとの流れをつくる

No.	意見者	主な対象項目 (暫定版該当ページ)	意見の概要	意見への対応 (確定版該当ページ)
9	市内個人 60代 男性	○久留米とんこつ 戦略の推進 P9	<p>筑後川の活用として、たとえば、<u>原鶴温泉までのお客さんをJR久留米駅から梅林寺まで歩いていってもらい、川から舟で、温泉まで行ってもらおう。まずは、土、日、休日だけで良いから、全国の駅マルスで予約をもらって、当日の川の状態でJR久留米駅のみどりの窓口で乗舟券を発券してもらおうのが良いと思う。片道は舟で、もう片道は、バスか鉄道を利用すると良いかと思う。もちろん、帰りの温泉街から久留米までの舟も有りだと思ふ。</u></p>	<p>肥沃な大地を育み、現在の久留米市発展の源流ともいえる筑後川は、本市の観光面においても貴重な地域資源の1つと認識しております。</p> <p>ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
10	市内個人 60代 男性	○久留米とんこつ 戦略の推進 P9	<p><u>久留米は自転車のまちなので、サイクリングコースを作る。</u></p> <p>コースは、JR久留米駅から筑後川の土手か川原のコースで、大川にある旧国鉄佐賀駅の鉄橋まで行って橋を渡って、反対の土手に行って久留米まで帰ってもらおうコース。途中、土手の近くのうなぎ屋や、酒造会社で、ひと休みするのも有りかと思う。出来れば、JR久留米駅に、レンタサイクルを置いて、帰って来てから汗を流せるシャワー設置があれば良いと思う。</p>	<p>久留米市では、環境に優しく、健康的で、小回りが利く便利な移動手段である「自転車」に着目したまちづくりを推進しております。</p> <p>ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
11	市内個人 40代 女性	○市民が主役の 楽しい文化芸術 都市 P10	<p>①久留米シティプラザ文化にぎわい創造事業の推進</p> <p>KPI：平成31年度の久留米シティプラザ来館者数、で測るとあるが、具体的に来館者とは、どのような人のことを指し示し、その人々をどのような方法でカウントするのか。久留米シティプラザでは、開館当初からこの来館者をカウントすると思うが、方法を明確にしてもらいたい。</p> <p>また、このような事業の推進の評価方法が「来館者数」だけで測れるものなのか、ある程度複数の視点での評価が必要ではないか。</p> <p>今回の評価方法の提示は非常に安直であり、久留米市は久留米シティプラザへの投資に対する対価をそれだけでしか判断しないという風にとらえてしまう。いわゆる数だけの評価になることに疑問を感じる。</p> <p>久留米シティプラザで新しい文化を創る、というのなら、その評価方法も従来の方法にとらわれないことなく、新しいあり方（評価）を示してはどうか。</p>	<p>KPIにおける「来館者」は、久留米シティプラザにおける「催しへの参加者」を指し、各主催者がカウントする参加者数を把握することを想定しています。</p> <p>また、久留米シティプラザを中心に事業展開がなされる関連事業のKPIとして、「MICE開催支援数」「くるめ街かど音楽祭来客数」などについても、評価の参考とします。</p> <p>また、久留米シティプラザ全体の評価については、複数の視点での評価が必要であることから、外部評価（客観評価）などの手法も交えながら、総合的に評価していくこととしております。(P17)</p>

No.	意見者	主な対象項目 (暫定版該当ページ)	意見の概要	意見への対応 (確定版該当ページ)
12	市内個人 60代 男性	-	<p>久留米との関わりをなくした人に、久留米の名産の品を送る。</p> <p>道の駅等の品を中心に、その月に一番良い品、なつかしい味を送ったら良いと思う。始めから、この品物を送るのではなく、一番良く出来た品物を送る。その品が良かったら、全部その品で、2ヶ月続いても良いと思います。何か送られて来るのが解らないけれども、親が忘れていたり、久留米と関わりをなくした人には、ありがたいサービスになると思う。</p>	<p>現在、久留米市が取り組んでいる「ふるさと・久留米応援寄附」制度では、一定の寄附をいただいた方に、市の特産品などの記念品を贈呈しています。これらを活用して、久留米市に親しみや関わりを持っていただけるような取り組みを進めてまいります。</p> <p>ご意見については、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>

(3) 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

No.	意見者	主な対象項目 (暫定版該当ページ)	意見の概要	意見への対応 (確定版該当ページ)
13	市内団体	P12	<p>6行目「…また、男女が共に仕事と家庭、…」を「…また、長時間労働の実態を見直し、女性の労働による社会参画を支援し、男女が共に仕事と家庭、…」とする。</p>	<p>施策の基本的方向の中では、具体的な取り組みについての表記を省略しています。</p> <p>ご意見については、「(4) ワーク・ライフ・バランス応援事業」「(5) 女性活躍促進事業」の具体的な取り組みの1つとして、今後の参考とさせていただきます。(原案どおり。P7)</p>
14	市内団体	P12	<p>12行目「…支援する環境づくりを進めます。…」の後に「とくに、生きにくさを抱えているシングルマザーや多様な家族形態を生きる人に対する支援を行います。」を追加する。</p>	<p>ご指摘の点については、久留米市新総合計画第3次基本計画(平成27年度～31年度)を推進していくなかで、「お互いのやさしさと思いやりの見えるまち」として、体系的に取り組んでいくこととしております。(原案のとおり。P7)</p>

No.	意見者	主な対象項目 (暫定版該当ページ)	意見の概要	意見への対応 (確定版該当ページ)
15	市内団体	○男女共同参画社会づくりの推進 P13	③女性の就労環境整備事業 「… <u>連携を深め、仕事と…</u> 」の深めの後に「 <u>女性の就労拡大と…</u> 」を追加する。	女性の就労拡大については、「（５）女性活躍促進事業」の中で、具体的に取り組みを進めます。（P13）
16	市内団体	○男女共同参画社会づくりの推進 P13	③女性の就労環境整備事業 「…、 <u>仕事と子育ての両立や…</u> 」の仕事の前に「…、 <u>男女がともに</u> 」を追加する。	ご指摘の点については、施策の基本的方向の中で、「男女が共に仕事と家庭、子育てなどを両立できるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを推進します。」と表記しています。（P7） また、男女が共に仕事と家庭を両立するという視点については、「（４）ワーク・ライフ・バランス応援事業」として再整理します。（P13）
17	市内団体	○男女共同参画社会づくりの推進 P13	③女性の就労環境整備事業 「 <u>周知・啓発等に取り組みます。</u> 」の後に、「 <u>また、当面非正規雇用でキャリアアップをめざす女性への支援を強めます。</u> 」を追加する。	ご意見については、「（５）女性活躍促進事業」の具体的な取り組みの参考とさせていただきます。
18	市内団体	○男女共同参画社会づくりの推進 P13	「 <u>女性の就業率の拡大と非正規という働き方の見直し</u> 」を追加する。	ご意見については、具体的な事務事業を推進する際の参考とさせていただきます。（原案のとおり。P13）
19	市内団体	○男女共同参画社会づくりの推進 P13	「 <u>セミナー受講者に対する就労相談などの出口づくり</u> 」を追加する。	ご意見については、具体的な事務事業を推進する際の参考とさせていただきます。（原案のとおり。P13）
20	市内団体	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P13	②若年者雇用安定促進事業 KPI: <u>5年間の企業訪問件数に若者の就職者数を追加</u> する。	把握の可否や迅速性等を考慮し、KPIを「市内の大学等の卒業生の市内企業への就職率」と設定します。（P29）

No.	意見者	主な対象項目 (暫定版該当ページ)	意見の概要	意見への対応 (確定版該当ページ)
21	市内 団体	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P13	③子ども総合相談事業 「…などを行う、…」の後に「 <u>ソーシャルワークができる人材を含めた…</u> 」を追加する。	久留米市では、平成27年度より、ソーシャルワーカーを含めた、子ども・子育て支援体制を構築しております。 ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。(原案のとおり。P16)
22	市内 個人 50代 女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P14	こどもの発達支援事業で、相談の窓口が数箇所あるが、どこも待ち状態になったり、回されたりする現状があるので、 <u>一貫した支援を行う子ども発達支援センターの整備について、早期実現をお願いしたい。</u>	
23	市内 個人 50代 女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P14	若い保護者が、安心して子育てができるよう、 <u>早急に『発達支援センター機能』の具体的な取り組みをして頂きたい。</u>	
24	市内 個人 50代 女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P14	<u>子どもセンターの早期実現をお願いしたい。</u>	子どもの発達支援については、これまでの来所型発達支援に加えて、早期発見・早期対応の仕組みや身近に相談できる環境づくりを具体化するため、平成27年度より新たに訪問療育を開始するなど、発達支援システムの機能を充実させており、今後も、その機能の強化を図ってまいります。(P16)
25	市内 個人 30代 女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実	<u>子どもセンターの早期実現をお願いしたい。</u>	
26	市内 個人 40代 女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P14	久留米市内で、 <u>発達障害をもつ人(成人を含む)や不登校で悩む人、また、その保護者が、相談や療育、就職まで視野に入れた支援を受けられる、公の支援センター・施設の設立を心から願う。</u> ハンディを持った子どもたちが将来自立を目指すための公の施設を作り、そこから世間一般への理解を求め、情報発信を行うことや、悩む子どもや保護者へ安心した対応ができるサポーターや相談者や理解者を育成することが必要である。	

No.	意見者	主な対象項目 (暫定版該当ページ)	意見の概要	意見への対応 (確定版該当ページ)
27	市内個人 50代女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P14	<p>久留米市の幼児研究所の機能は、療育・医療・教育と結びつき、素晴らしいと思っているが、<u>機能が学齢期で分断されているので、学齢期の相談とつないで欲しい。そして、青年期まで相談できるようになることを願っている。</u></p> <p>また、<u>親の会などとも連携し、相談ネットワークも機能に入ると、広がり深まると思う。専門性ととも、びあカウンセリングともつながるといい。</u></p>	<p>幼児教育研究所では、特に不安や悩みが生じやすい就学前のお子様の育ちに関する相談等に対応していますが、その機能が途切れることなく、多様な支援体制のもとで継続的に提供されるよう、「(3) 子育てつよーいみかた事業」において、継続的な相談支援や必要なサービスのコーディネートなどに取り組むこととしております。(P16)</p> <p>ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
28	市内個人	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P14	<p><u>幼児教育研究所の対象者を就学前より学童・青年・成人まで拡大して欲しい。</u></p>	<p>ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
29	市内個人 40代女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P15	<p>久留米市における死因第一位が「自殺」であることから、<u>コミュニティースクールを推進し「人とひと」の絆づくりを重点課題とする必要がある。</u></p> <p>また、「ワンストップ相談窓口」と「困難を有する子どもや若者の支援の地域ネットワーク」の構築が必要と考える。</p> <p>関与継続型のアウトリーチノウハウを活用した「伴走型」のコーディネートを実施し、自立支援の効果を上げている支援団体を参考にして頂きたい。</p>	<p>「(2) げんきに学ぶくめっ子事業」において、コミュニティースクールを推進することや、いじめや不登校児童生徒を生まないための早期発見や早期対応、継続的・段階的な支援などに取り組むこととしております。(P30)</p> <p>また、「(3) 子育てつよーいみかた事業」において、継続的な相談支援や必要なサービスのコーディネートなどに取り組むこととしております。(P16)</p> <p>ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
30	市内個人 40代女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P15	<p>若者が進学や仕事を求めて市外に転居する割合が多いことを考えると、<u>小学校から久留米独自のキャリア教育を進め、久留米の産業や文化・歴史を教え、「久留米が好き」「久留米で働きたい」「久留米のことを多くの人に知ってもらいたい」と考え行動できる教育体制を創る必要がある。</u></p> <p>久留米の独自の教育プランを展開することで、進学のために市外に転出したとしても経験を積んで久留米に戻るケースが増えるのではないかと考える。</p>	<p>久留米市では、小中学校において、久留米の自然や産業、祭り、歴史、郷土の先人などについて知り、「ふるさと久留米」に対する誇りと愛情を育むことを目的とした「くるめ学」という学習に取り組んでいます。</p> <p>ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>

No.	意見者	主な対象項目 (暫定版該当ページ)	意見の概要	意見への対応 (確定版該当ページ)
31	市内個人 40代女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P15	義務教育の充実と相談・支援体制の一本化（ワンストップ相談窓口）が必要である。 義務教育においては、①少人数クラスか副担任を配置し、集団生活に慣れていない児童生徒の教育体制を整える。②知識を詰め込む教育からキャリア教育をベースにした知識を活用できる教育体制への変換を図る。③地域住民や地域産業を巻込んだ教育課程を作成する。④学校に、教師や親以外の大人を増やし、多様な考えや生き方・人生観があることを学ばせる。 以上により、人を意識した行動や立ち振る舞いを自然と修得することが出来、その結果、柔軟性や臨機応変な行動を育み、実務的・文化的・人間形成的教育が出来ると考える。非行や引きこもり・不登校を防止する策ともなる。	「（２）げんきに学ぶくめっ子事業」において、地域と学校が連携して行う教育課題の解決に向けた活動（久留米版コミュニティスクール）の支援や、スクールカウンセラーの配置による支援・相談体制の充実、少人数授業の実施など、学力向上に向けた総合的な取り組みなどを進めることとしております。 (P30) ご意見につきましては、具体的な取り組みにおいて参考とさせていただきます。
32	市内個人 40代女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P15	思春期の子を持つ親対象の講座が少ない現状がある。親自身が親として成長していないと、子どもも思春期（反抗期）を上手に乗り切れないので、親育ての一環として、学校の中でPTA向けに親育ての講座やサークルをつくり人との絆づくりをする必要性を感じる。 親が地域と繋がっていないので、子どものことで（いじめ・非行・不登校・引きこもりなど）困ったことが起きると問題が深刻化しやすいと言える。	「（２）げんきに学ぶくめっ子事業」において、家庭、地域及び学校との協働による教育活動の充実強化を図ることとしております。 ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。
33	市内団体	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P15	⑧くめ学力アップ推進事業 「…取り組みを進めます。」の後に、「また、特に <u>貧困な状況にある子どもの学力の充実に取り組めます。</u> 」を追加する。	「（２）げんきに学ぶくめっ子事業」を推進する中で、経済的に困難を抱える子どもも含め、学力向上に向けた総合的な取り組みなどを進めることとしております。（P30）
34	市内個人 40代女性	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P15	スクールカウンセラーを利用しており、親としては大変有り難いが、カウンセラーの先生が学校に来られる回数が限られていて、時間も短く、たまに会って話すだけとなり、十分に機能しているのか疑問に感じる。 常勤までとはしなくても良いが、もう少し頻回にカウンセリングが受けれる方が、利用者も増えて良いかと思う。特に子ども達は、悩みがあって、予約しても一カ月後にしか受けれないのであれば、なかなか利用する気持ちにならないのではないか。	スクールカウンセラーの運用については、利用しやすい環境づくりが重要なものと認識しております。 ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。（P30）
35	市内団体	○結婚・妊娠・出産・子育て支援と教育の充実 P15	⑩不登校対策総合推進事業 「…支援や…」の後に「…その子の希望に沿って…」を追加する。	「（２）げんきに学ぶくめっ子事業」においては、課題を持つ児童生徒の希望に沿って、支援を進めていくことを前提としております。 (原案のとおり)

(4) 安心な暮らしを守る

No.	意見者	主な対象項目 (暫定版該当ページ)	意見の概要	意見への対応 (確定版該当ページ)
36	市内個人 60代 男性	○ネットワーク型のコンパクトな都市づくり P18	若い子からお年寄りまで、人が集まれる一番街にする。 ①屋台をアーケードの中に入れ、トイレ、水、電気等により、衛生的に行う。②昔の映画館を、若者達の演歌の練習場として利用させる。③市内の女子中高生に、レンタルで久留米絣の着物をかして、福岡等に遊びに行く時に、おしゃれに着て行ってもらう。出来れば修学旅行にも、レンタルで行ってもらう。④退職して集まった人の学びや教えの場として、一番街の空きテナポに、お花、書道、ピアノ等の音楽、ヨガ、なんでも有りの場を作る。	「(2) 中心拠点整備事業」や「(4) 音楽によるまちづくり推進事業」において、一番街をはじめとした中心市街地の賑わいづくりや、音楽の持つ力による人とまちの元気づくりなどに取り組むこととしております。(P27・31) ご意見につきましては、具体的な取り組みにおいて参考とさせていただきます。
37	市内個人 60代 男性	○ネットワーク型のコンパクトな都市づくり P18	JRと西鉄が離れていて、利便がよなく、遠方からの人がバスを利用するには解りにくいので、久留米市を横断する鉄道があれば良いと思う。 コースは西鉄久留米から六つ門—三本松公園—市役所—JR久留米駅—BS—医大のコースが良いと思う。もちろん全ての駅は、バリアフリーのホームドアで運行してもらいたい。鉄道は、懸垂式のものルールが安くて作りやすいと思う。	「(5) 公共交通利用促進事業」において、交通事業者との連携を図りつつ、交流人口増加の視点も踏まえながら、まずは既存の公共交通機関の有効活用、利用促進を図る中で、JR久留米駅と西鉄久留米駅の更なる利便性の向上、交通結節機能の強化に取り組んでまいりたいと考えております。(P32) ご意見につきましては、具体的な取り組みにおいて参考とさせていただきます。
38	市内個人 60代 男性	○健康で安心して暮らせるまちづくり P20	久留米市には、医科大学が2つあるので、高齢医療の充実した福祉の街をコンセプトにしたまちづくりを行なう。 中古のマンションをバリアフリーにして、各マンションに医療関係者の学生に、割引きして住んでもらうようにして、住民への注意を払ってもらう。 たとえば、サガン鳥栖に入団する時に、手に職をつけるために、医大のリハ科に通学させて、選手として大成しなくても、スポーツのリハビリや地域の福祉に作業理学療法士としてこれからの人生のひと役をかってもらう。	「(1) 高度メディカルシティづくり事業」 「(1) 健康のびのび・安心事業」において、高度先端医療及びその研究開発の拠点化や、高齢者の健康づくりも含めた、市民の健康増進や医療体制の充実を目指す取り組みなどを進めることとしております。(P23、P34) ご意見につきましては、具体的な取り組みにおいて参考とさせていただきます。

(5) 広域拠点の役割を果たす

No.	意見者	主な対象項目 (暫定版該当ページ)	意見の概要	意見への対応 (確定版該当ページ)
39	市内団体	○久留米広域連携中枢都市圏の形成 P24	③圏域全体の生活関連機能のサービスの向上 「・生活機能の強化充実(子育て支援の充実など)」の子育て支援の後に高齢者生活支援を追加して、(子育て支援、高齢者生活支援の充実など)とする。	高齢者生活支援の充実については、「地域医療環境の確保」や「安全・安心に暮らせる持続可能な交通体系の整備による交通弱者の解消」など、具体的な取り組みを進めることとしております。(P37)